

## 平成22年度 第2回 人間文化研究機構経営協議会議事概要

○日 時 : 平成22年11月17日(水) 13:30～15:00

○場 所 : 自然科学研究機構及び情報・システム研究機構合同会議室

○出席者 : 金田機構長、石上、稲盛、猪木、今西、岩男、小野、影山、栗城、栄原、須藤、立本、中尾、平川、平田、藤井、宮崎の各委員

○陪席者 : 大崎機構長特別顧問、広渡監事、駒形監事、歴博管理部長、国文研管理部長、国語研管理部長、日文研管理部長、地球研管理部長、民博管理部長、事務局総務課長、同企画課長、同財務課長、同施設課長、同企画課課長補佐、同財務課課長補佐、同財務課財務係長

○概 要 :

1. 議事に先立ち、事務局から、本会議開催にあたり定足数を満たしている旨の報告があった後、配付資料の確認がなされた。

### 2. 議 事

(前回議事概要)

機構長から、前回経営協議会議事概要(資料1)について、議事概要署名人のご確認をいただいたことが報告され、本協議会の同意を得た。

また、今回経営協議会議事概要について、今西委員、稲盛委員が議事概要署名人に選出された。

(審議事項)

(1) 給与改定について

事務局から、資料2に基づき、役職員の給与改定を実施する旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

(2) 平成21年度に係る業務の実績に関する評価結果について

中尾理事から、資料3に基づき、全体評価の概要、項目別評価の概要、改革推進状況における本機構の具体的取組例など評価結果の概要について説明された。

機構長から、指摘事項については、機構会議のメンバーで検討を開始し結論を出したい旨の説明があり、審議の結果、了承された。

(3) 監事監査について

広渡監事から、資料4に基づき、今年度の監事監査について、

- ・平成22年度監事監査計画を策定したこと及びその概要
- ・実地検査について、4機関が終了し今後2機関を実施予定であること
- ・これまでに行った実地監査の概要

などが説明され、了承された。

機構長から、審議事項（４）機構長裁量経費の取扱については、平成２３年度概算要求の状況を踏まえて審議を行っていただきたい旨の説明があり、報告事項（１）平成２３年度概算要求の状況についての後に審議を行うこととなった。

（報告事項）

（１）平成２３年度概算要求の状況について

中尾理事から、資料６－１に基づき、平成２３年度の概算要求について、

- ・平成２３年度概算要求組み替え基準（平成22年7月27日閣議決定）の概要
- ・文部科学省から財務省へ提出された概算要求における人間文化研究機構分の概要が報告された。

（審議事項）

（４）機構長裁量経費の取扱について

機構長から、資料５に基づき、機構長裁量経費の取扱について、平成２３年度国立大学運営費交付金の予算は極めて厳しいことが予想される中で、限られた資源を最大限有効に活用し、各事業の円滑な推進を図るためのものである旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

（報告事項）

（１）平成２３年度概算要求の状況について

栗城理事から、資料６－２に基づき、「元気な日本復活特別枠要望」に関するパブリックコメントについて、趣旨・目的、実施方法等、文部科学省関連要望事業の結果の概要、今後の予定等が報告された。

（２）会計監査人の選任について

事務局から、資料７のとおり、新日本有限責任監査法人が本機構の会計監査人として選任されたことが報告された。

（３）平成２１事業年度財務諸表の承認について

事務局から、資料８のとおり、平成２１年事業年度財務諸表が平成２２年６月３０日付けで文部科学大臣に承認されたこと及び当該財務諸表の概要について「決算概要２０１０」を作成したことが報告された。

（４）平成２２年度資金運用の状況について

事務局から、資料９に基づき、本年度のこれまでの資金運用結果の報告及び今後の資金運用予定の説明があった。

（５）日本関連在外資料調査研究事業について

小野理事から、資料１０に基づき、今年度から開始した日本関連在外資料調査研究事業について、事業目的の説明及び実施状況の報告があった。

（６）人間文化研究機構活動状況報告及び活動予定について

事務局から、資料１１に基づき、今年度上半期の活動状況の報告及び下半期の活動予定の説明があった。

